

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-1		事業名	札幌交響楽団運営費補助事業				
担当	観光文化局文化市民文化課 木村 211-2261							
全 体 計 画								
事業内容	札幌コンサートホールKitaraを中心に広く市民に優れた音楽鑑賞機会を提供するなど、本市音楽界発展の原動力として文化芸術の振興に大きく寄与している札幌交響楽団の運営費の補助等を行う。 <札幌交響楽団の活動の主な内容> 1 自主公演 / 定期演奏会、名曲シリーズ、特別公演 2 依頼公演 3 音楽教室(青少年の音楽鑑賞に関する普及と指導) ほか			<年度別の事業内容> 平成19年度～平成22年度 <市内で開催するフルオーケストラ公演> 1 自主公演 / 定期演奏会、名曲シリーズ、特別公演 2 依頼公演 3 音楽教室(青少年の音楽鑑賞に関する普及と指導)				
	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
事業内容・量・場所・規模・件数等	市内で開催したフルオーケストラ公演数 1 自主公演 定期演奏会 20回 特別公演 12回(うち、名曲シリーズ4回) 2 依頼公演 23回 3 音楽教室(青少年の音楽鑑賞に関する普及と指導) 16回			市内で開催するフルオーケストラ公演数 1 自主公演 定期演奏会 20回 特別公演 13回(うち、名曲シリーズ4回) 2 依頼公演 28回 3 音楽教室(青少年の音楽鑑賞に関する普及と指導) 19回				
	達成目標の状況							
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
公演への観客数			131,464人	116,013人	132,000人	133,000人	134,000人	135,000人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 来場者に対するアンケートなどから市民ニーズの把握に努めている。また、ボランティア組織の協力も得ながら、道内唯一のプロオーケストラとして地域に密着した様々な公演を実施し、市民が音楽芸術に触れる機会を提供している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 協賛や寄附金等の支援により、本市の文化芸術の振興や地域の活性化が期待できる。 [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 活動内容については、ホームページ等を活用して情報提供を行っている。また、地域とのコミュニケーションを深めるミニ演奏会の開催や市民が無料で鑑賞できる機会の提供など、活動のPRに努めている。</p>								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-1-1		事業名	札幌交響楽団運営費補助事業	
評価(成果)				課題		
札幌交響楽団では、平成17年度から事業の柱である定期公演を2公演化し、定期演奏会の入場者数は毎年増加してきている。併せて、定期演奏会を特別価格で継続して鑑賞できる定期会員数も増加しており、着実に聴衆者の増加につながっている。 単年度収支の均衡も実現されており、着実に財政健全化等の改革が進んでいる。				楽団自らの経営努力により収支構造が改善してきているが、引き続き北海道補助金の減額の影響等、経営状況を見極める必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
札幌交響楽団は、定期公演の2公演化による観客数の増加や経営の効率化による運営費の節減を図った結果、単年度収支の均衡を実現しているが、北海道や国の補助金の削減により依然として厳しい経営状況にあるため、本市として、引続き支援を行う必要がある。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債 その他 一般財源					
予算	事業費	160,000	160,000	-	-	320,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0 0 160,000	0 0 160,000			0 0 320,000
実績	事業費	160,000	-	-	-	160,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0 0 160,000				0 0 160,000
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						